

令和4年度 大森小学校 研究・研修

1. 研究主題

児童の意欲を高め、「わかった」「できた」と実感する授業作り
～ユニバーサルデザインの視点を生かした国語科「読むこと」の指導の工夫～

主題設定の理由

(1) 今日の課題から

時代の変化が急速に進んでいる現在、これからの社会において、一人ひとりの子どもたちが活躍し、どのような状況でも生き抜いていく力を付けていくことが求められている。学校教育においても、様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことなどを解決するために、新学習指導要領においては「主体的・対話的で深い学び」を重視した授業改善が求められている。

文部科学省（中央教育審議会）では、「障害のある子どもが十分に教育を受けられるための合理的配慮及びその基礎となる環境整備の充実」を図る上で、「ユニバーサルデザインの考え方も考慮しつつ進めていくことが重要である」とある。また、千葉県教育庁教育振興部特別支援教育課では、「授業を実施するに当たっては、障害の有無にかかわらず、どの児童にとってもわかりやすい授業を実践するためには、ユニバーサルデザインに配慮した取り組みが望まれる」とある。

(2) 大森小の目指す児童の姿から

大森小学校の目指す児童の姿は、「学習の楽しさを知り、自ら学ぶ子」である。「ユニバーサルデザイン」の視点を取り入れ、全ての児童に、基礎基本の理解と習得を目指している。特別な支援が必要な児童に対しても、わかりやすいと実感できる授業作りをしていく必要があると考え、本校児童の課題である、国語科の「読むこと」について、「わかった」「できた」と児童が実感できる授業作りを目指すこととした。

以上を踏まえ、本校では、「児童の意欲を高め、「わかった」「できた」と実感する授業作り～ユニバーサルデザインの視点を生かした国語科「読むこと」の指導の工夫～」を目指し、授業実践を進めてきている。児童の読みを深める国語科授業のあり方を探っていくとともに、学びを実感する児童を育てていきたい。

(3) 本校の児童の実態

本校の児童は、明るく素直で思いやりの心がある児童が多い。クラス変えもなく、単学級であるので、人間関係は変わらない。毎日、昼には読書タイムとして読書の時間を確保しているので、本に親しむ児童が多い。昨年度の県学力検査の結果から、意欲的に学習に取り組む児童が増加してきたことが分かる。また、「思考・判断・表現」については、学年によっては県平均を下回ることもあるので、特に読解力を向上させる手立てが必要である。

2. 研究仮説

仮説1 ～主体的な学びへ向かう手立てとして～

ユニバーサルデザインの視点（主に視覚化・焦点化）を生かした授業を展開していけば、児童が主体的に学習に取り組むことができるだろう。

〈手立て①（視覚化）板書や話し合いの可視化といった情報伝達の工夫をする〉

（例）

- ・児童の実態に即した素材を開発し、提示方法を工夫する。（Chromebook等の活用）
- ・Chromebookの活用を工夫する。
- ・ホワイトボードや付箋、ノートを活用し、板書の工夫を図る。（思考の可視化）

〈手立て②（焦点化）何を指導するかを明確にする。〉

（例）

- ・単元のゴールを明確にする。

- ・目的にあった思考ツールを選択し、活用する。
- ・発問や問い返しの工夫をする。

仮説 2 ～対話的な学び合いの手立てとして～

進んで考えたり話し合ったりして、学び合いの場（共有化）を工夫していけば、読みを深めることができるだろう。

〈手立て③（共有化）学び合い、考えを伝え合い、教え合ったりする。〉

（例）

- ・話し合いのルールを明確にする。
- ・ペア，グループでの話し合いを工夫する。
低学年：ペア学習 中・高学年：ペア・グループ学習（発達段階に合わせて）
- ・ホワイトボード，I C T機器・Chromebook を活用する。
- ・発表や発言等を板書やホワイトボードに表現し，思考の可視化を図る。

3. 検証計画

観点	視点	方法
知識・技能	・基礎学力の向上 ・既習事項の理解 ・自力解決時の行動 ・練習問題でのチェック	学力テスト ノート ノート
思考力・判断力・表現力	・表現方法の工夫 ・話し合いへの参加	ノート 授業観察
学びに向かう力・人間性	・アンケート（児童） ・UD の視点を生かした授業	児童の意識調査 ノートへの感想 チェックリスト

4. 研究の内容と方法

（1）理論研究

- 先行文献や実践校の資料を活用し，研究教科における効果的な指導方法の研究を行う。
- 国語科における「読むこと」の研究を行う。

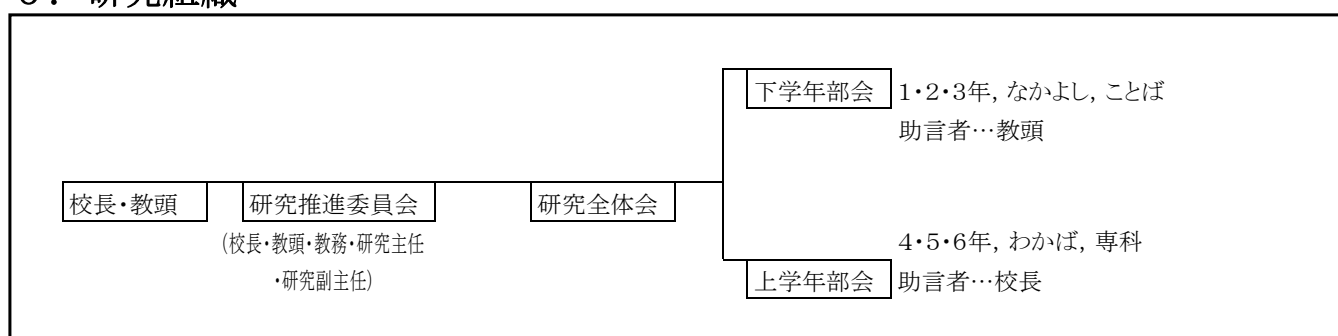
（2）実践研究

- 児童のつまずきを想定して，授業計画を立てる。
- 児童に学習習慣が身につくよう実践する。
- 授業改善を図るため，問題提示や話し合いの仕方などについて工夫する。
- 「ユニバーサルデザインの視点を生かした授業」の構築を図る。

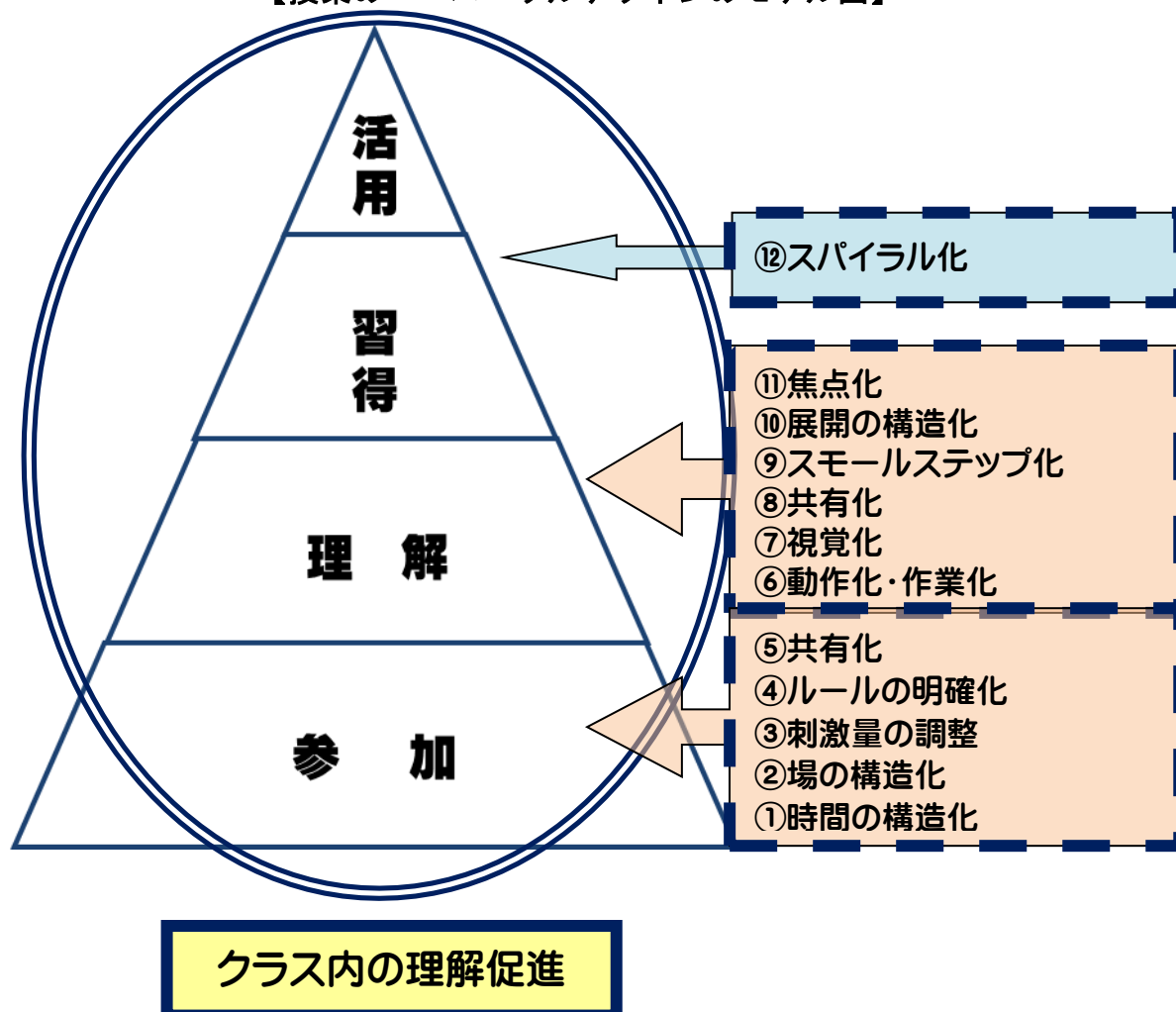
5. 目指す児童の姿

	低学年	中学年	高学年
文学的な文章	・場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。	・登場人物の行動や気持ちなどについて叙述をもとに捉えることができる。	・登場人物の相互関係や心情などについて描写を捉えることができる。
説明的な文章	・時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。	・段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述をもとに捉えることができる。	・事実と感想、意見などとの関係を叙述をもとに押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。

6. 研究組織



【授業のユニバーサルデザインのモデル図】



【授業のユニバーサルデザイン】

時間の構造化

→授業全体の見通しが見える形にすること。

(黒板やホワイトボードに大まかな時間の流れを提示する。)

場の構造化

→教室や道具等，学習環境を徹底して整理整頓すること。

(学習効率を高めるだけでなく，落ち着いて授業などに取り組めるようにする。)

刺激量の調整

→掲示物，音等の刺激を減らすこと。

ルールの明確化

→暗黙のルールを作らず，きまりを示すこと。

共有化

→①情報を整えて同じ土俵に立たせること。

(既習事項の確認や復習)

②学び合い，考えを伝え合い，教え合ったりすること。

(ペアやグループでの話し合い)

身体性の活用

→体や感覚を使った授業，活動のこと。

(動作化，作業化)

視覚化

→板書や話し合いの可視化といった情報伝達の工夫をすること。

スモールステップ化

→目標を細分化し，徐々に最終目標に近づけること。

展開の構造化

→進め方，説明方法，何を体験させるか等，授業の展開の構成をすること。

焦点化

→1時間の授業で何を教えるかしぼること。

内容をフォーカスし，構成をシンプルにすること。

スパイラル化

→既習事項を復習する場を設定すること。

クラス内の理解促進

→誰もが活躍し，助け合い，良さを認め合う場面を設定すること。

(授業に参加するためには，「分からない」と言える雰囲気や「間違えたり失敗したりしてもいいんだ」という雰囲気をつくる。)

7. 研修・研究計画

令和4年4月

○校内研修 ◎講師招聘研修 ※その他会議

月	日(曜)	研 修・研 究 内 容	研 修 方 法	備 考
4	4 (月) 5 (火) 7 (木) 14 (木) 21 (木) 28 (木)	※職員会議 (研究内容・研修計画伝達) ○生徒指導「学校いじめ防止基本方針」 ○エビペン研修 ○モラールアップ研修会①・新年度準備 ○授業参観準備 ※職員会議 ○ICT研修 (昨年度実践事例紹介:旧学年)	全体研修 全体研修 全体研修 個人研修 全体研修	 市教研定期総会 耳鼻科検診
5	12 (木) 19 (木) 26 (木)	○大森を知らう研修 (学区たんけん) ※職員会議 ○ICT研修	全体研修 全体研修	5年脊柱側湾症検診
6	2 (木) 9 (木) 16 (木) 23 (木) 30 (木)	○救急救命法研修? ○学力向上研修① (学力向上に向けての準備) ○校内授業研究会指導案検討 ※職員会議 ○第1回校内授業研究会 (年・ 年・ 年)	全体研修 部会研修 	全校朝会
7	7 (木) 14 (木) 20 (水)	○指導案様式確認・作成・各教科学習指導要領研鑽 ○学期末事務処理 ※終業式	全体研修 個人研修	全校朝会 創立記念式典
8		※夏季校内研修 (未定) (①人権研修②道徳③外国語 (外国語活動) ④指導室訪問授業素案検討 等)		
9	1 (木) 8 (木) 15 (木) 22 (木) 29 (木)	○モラールアップ研修会② ○指導室訪問指導案検討① ○運動会準備・ICT研修 ○職員会議 ※成績処理	全体研修 部会研修 個人研修	(6年歴博見学)
10	6 (木) 13 (木) 20 (木) 27 (木)	○通知表準備・確認 ◎指導室訪問指導案検討② (市教委指導依頼) ※職員会議 ○校内授業研究会指導案検討①	個人研修 部会研修 部会研修	
11	3 (木) 9 (水) 10 (木) 14 (月) 17 (木) 24 (木)	文化の日 ・市教研小学校授業研究会 ○教材研究・授業準備 ◎指導室訪問指導案検討③ (市教委指導依頼) ○第2回校内授業研究会 (年・ 年・ 年) ※職員会議	個人研修 部会研修 全体研修	
12	1 (木) 5 (月) 8 (木) 14 (木) 22 (木) 23 (金)	○指導室訪問準備 ◎指導室訪問 ○モラールアップ研修会③ ※職員会議 ○ICT研修・学年末事務処理 ※終業式	個人研修 全体研修 全体・個人研修	書き初め練習会
1	5 (木) 12 (木) 19 (木) 26 (木)	冬季休業 ※企画会議 ○学力向上研修② (学力テストに向けて) ※職員会議	全体研修	
2	2 (木) 9 (木) 16 (木) 22 (水)	○研究のまとめ・年間指導計画見直し ○研究のまとめ ○研究のまとめ ・学力検査採点	部会研修 全体研修 個人研修	

	2 3 (木)	※天皇誕生日		
3	2 (木)	・成績処理		
	9 (木)	・学年末事務処理		
	1 6 (木)	・卒業式前日準備		